

## 全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>〈成果〉</p> <p>○国語科では、「話すこと・聞くこと」の正答率が全国平均よりもかなり高いほか、書くことや言語面でも力を発揮している。</p> <p>○算数科では、特に「数と計算」領域で、正答率が伸びてきており、算数的な技能が身に付いてきている。</p> <p>○理科では、知識・活用面ともに正答率が全国平均よりも高く、とりわけ「観察・実験の技能」面が得意である。</p> <p>○すべての教科で無回答率が全国平均よりも低く、難しい問題でも頑張っており取り組もうとする前向きさが伺える。</p> <p>〈課題〉</p> <p>▲国語科では、場面の移り変わりや中心となる語や文を捉えたり、内容相互の関係を捉えたりすることが苦手である。</p> <p>▲算数科では、「量と測定」の領域に課題があり、割合の考え方や図形についての知識・理解が不十分である。</p> <p>▲理科では「知識・理解」に関する問題の中に正答率が低いものがあった。</p>	<p>〈成果〉</p> <p>○授業の最後に学習内容を振り返る活動がよくできており、学習のよいパターンが身に付き成果となって表れつつある。</p> <p>○土曜日や日曜日など学校の休みの日の学習時間が長い児童が多い。</p> <p>○学校での出来事を家族と話している児童が多い。</p> <p>○地域の行事に参加したり、新聞や本を読んでいる児童が非常に多く、身近なことや社会的な事柄に関心がある様子が伺える。</p> <p>〈課題〉</p> <p>▲算数科に対する苦手意識を感じている児童がいる。</p> <p>▲話合い活動に徐々に慣れてきてはいるが、まだ友達の前で自分の考えや意見を発表することに苦手意識がある。</p> <p>▲テレビやゲーム、メールやインターネットに接する時間が長く、帰宅後の時間の過ごし方の指導を続けていく必要がある。</p> <p>▲失敗を恐れずに最後までやり遂げようとする児童がやや少ない。</p>

## 改 善 策

## 学 校 で の 取 組

- ①基礎基本・知識理解の確実な定着
  - ・朝学習の充実 ・放課後学習の充実 ・学期末の振り返り・さかのぼり学習の実施 ・授業時間数の確保と1単位時間内の時間配分
- ②学習習慣・生活習慣(メディアコントロール力を含む)の確立と読書活動の充実
  - ・学習習慣「家庭学習がんばりカード」、「宿題忘れゼロウィーク」
  - ・生活習慣(メディアコントロール力を含む)「早ね！早おき！朝ごはん！金光！！学力アップ大作戦チェック表」
  - ・読書活動「個人別読書量調べカード」「いろいろなジャンルの本を読もうカード」
- ③ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「どの子もわかる・できる」授業づくり
  - ・算数科を中心とした校内研修の充実
  - ・「参加」の徹底と「理解」の促進、そして、「共有化」による話合い活動の充実
  - ・少人数指導の実施による基礎基本の徹底(算数科3～6年生)
- ④支え合う仲間の中で安心・自信を育むピア・サポート活動
  - ・特別活動の時間数増加(学級活動を10時間増)、効果的な年間指導計画づくり
  - ・事前・事後活動の充実(計画・スキル＋サポート活動＋振り返り)、グループエンカウンターによる集団づくり
  - ・帰りの会での認め合いや授業の振り返りの充実(自己肯定感と自信・達成感)、ペア学年でのサポート活動(学習補助、清掃補助、休み時間の活動)

## 中 学 校 区 で の 取 組

- ・中学校の試験週間に合わせて家庭学習強化週間(「家庭学習がんばりカード」、「宿題忘れゼロウィーク」)を実施して、学習習慣・読書習慣の確立を図る。
- ・生活習慣強化週間「早ね！早おき！朝ごはん！金光！！学力アップ大作戦チェック表」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。

## 家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- ・「家庭学習がんばりカード」、「早ね！早おき！朝ごはん！金光！！学力アップ大作戦チェック表」の期間中、保護者の方には、毎日カードを点検して、振り返りや励ましをお願いしたいです。学校と家庭が連携して児童の学習習慣・読書習慣、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の確立を図ることができるようと考えています。
- ・教科や生活科・総合等の授業のボランティアティーチャーや放課後学習の補助などで、保護者や地域の方々に協力をお願いできればと考えています。個に応じた学習支援や児童の安全確保の一層の充実を目指したいと考えています。